日本共産党市議会議員団
週刊議会報告

発行
日本共産党市議団
岡野長寿
0845-22-2596
魚谷さとる
0848-22-2810

党議員団 市民の願いかかげ活発に論戦

－共産党議員団の質問項目数、全体の3割超える－

10月2日(月)から3日間、昨年度の決算を審査する決算特別委員会(星野光男委員長)が開かれましたが、共産党市議団は市民の願いをかかげ活発に論戦。質問項目数では全体の3割を超えました。

決算委員会の役割は、財政が適正に使われているかは勿論、審査を通じてこれから本格的になってくる来年度の予算編成に生かすことです。

共産党市議団はその立場から、市民の願いをかかげて積極的に質問を行いました(下表参照)。最終日の4日は、午後8時過ぎまで熱心に審査が行われ、新人の議員は全員が質問し、議員全体では90項目の質問が出されました。31項目、34・4%の質問を行いました(左表参照)。

各会派の質問項目数

会　派	議　員	質問項目数	割合(%)
日本共産党	岡野、魚谷	31	34.4
潮風　おのみち	巻幡、村井　新田、前田、石森	9	10.0
木曜会	大本、中西、土屋	11	12.2
市民連合	山根、檀上、松原　岡田	13	14.4
公明党	福原、岡村、村上	4	4.4
平成会	二宮、佐藤、	3	3.3
青嵐会	宮地、高本、村上	6	6.7
新誠会	藤本、新地	9	10.0
参政党	冠	4	4.4
合　計	25名	90	－

※敬称略。吉和議長、宇根本監査委員は審査に参加せず

【質問項目の一部】
★市債の減少と交付税
★職員数減と外部委託職員
★外部職員と個人情報保護
★生活保護受給者の実態
★高齢者優待乗車証の改善
★市営住宅の減少など
★就学援助の実態
★国保会計、保険料引下げ
★介護保険会計の基金活用
★みつぎ病院の経営
★下水道料値上げと決算

共産党広島県へ予算要望活動

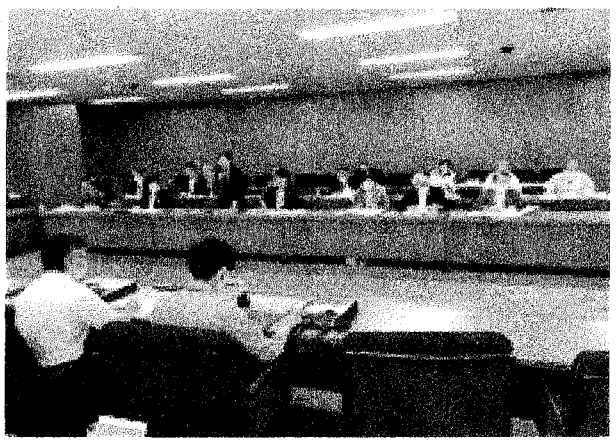
岡野長寿議員団長が参加

横断歩道50%消えていれば対象に

岡野議員は、あちこちで白線が消えかかっている横断歩道が散見される問題で、「75%以上消えないと補修の対象にならないのはおかしい。改善がなされたのか」、「県だけで対応できないのであれば、市町に仕事を委託したらどうか」と質問。

県警察本部は「50%以上消えていれば補修の対象になる。市町と連携して、交通安全対策を進める」と答弁し、基準が改善されたことを明らかにしました。

有機農業・学校給食・環境にやさしい町づくり



手前が県の担当者、奥側が共産党議員団

同議員は、因島の油屋新開では毒性の強い農薬散布によって化学物質過敏症の方から悲鳴が上がっている。住宅や学校に隣接する農地では環境にやさしい有機農業を推進すべきではないか」「有機野菜を学校給食に取り入れるなど農業・教育・環境にやさしい施策が必要だ」と訴え。農林水産局・環境県民局は、「国の支援制度としてエコファーマーの制度が活用できること。化学物質過敏症対策としては広報誌などでの個別的な啓発が重要との認識を表明しました。

その他の要望項目(一部)
☆しまなみ海道通行料金地元負担軽減制度の創設
☆教員の増員で教員未配置を根絶
☆国保会計への補助制度創設とイノシシ対策
☆防災対策、河川の堆積土砂の撤去・浚渫など

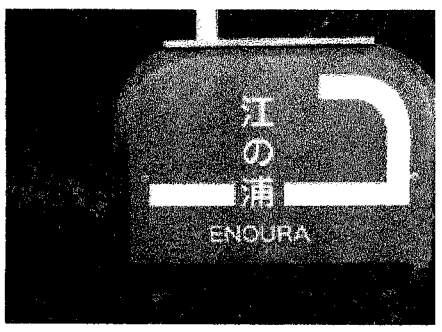
決算議会　タクシー券をどこでも1万円支給可能に

岡野市議は毎年1万円支給される高齢者優待乗車証について質疑。「御調町のようにタクシー券を1万円分選択できるようにすべきではないか」と。

町からスーパーがなくなり、買い物難民が激増。5千円のタクシー券はあっというまになくなる。残り5千円のバス券はバス路線がないので使えない。

こんな声が街中であがっているのに、なぜ尾道市はいつまでも「研究中」で逃げるのか。予算は1円もいらないのにと詰問しました。

同議員は、バス路線整備についても質問。県道なのに途切れた路線復活を訴えました。



立花方面からのバスは、この停留所でUターン。バス路線がなくなる（向島一周線）